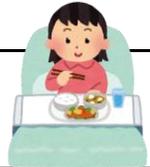


# 大腿骨転子部骨折手術をうける方へ

病棟 \_\_\_\_\_ 患者名 \_\_\_\_\_ 様  
 主治医 \_\_\_\_\_ 担当看護師 \_\_\_\_\_ 担当栄養士 \_\_\_\_\_

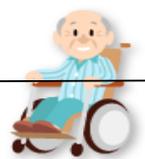
	入院時 ( 月 日 )	手術前日 ( 月 日 )	手術当日(手術前) ( 月 日 )	手術当日(手術後) ( 月 日 )
目標	手術の準備が整っている	手術について理解できる 手術の準備が整っている	落ち着いて手術にのぞむことができる	術後合併症(吐き気や血圧の低下など)がなく、循環状態が安定している 痛みのコントロールができる
検査 処置	熱や血圧を測ります 血栓予防のストッキングを履きます 身長、体重を測ります	熱や血圧を測ります 爪を切ります 必要時、排便コントロールを行います(浣腸など)	手術前に熱や血圧を測ります	手術終了後状態把握のため 検温を頻回に行います 手術後手術室でレントゲンがあります 手術後病室で採血があります 手術部位、尿の観察します
点滴			手術室入室後、点滴を始めます	1日中点滴があります
内服薬	内服薬の確認を行います 血液サラサラの薬など、医師の指示で中止する場合があります		麻酔科医の指示で朝内服して頂くことがあります	手術後、鎮痛剤を使用し痛みの軽減を図ります
安静度	ベッド上安静です ベッドの頭側をあげて座れます	ベッド上安静です ベッドの頭側をあげて座ることができます	ベッド上安静です ベッドの頭側をあげて座ることができます	手術後ベッド上安静です ベッドの頭側をあげて座ることが出来ません。寝返りは可能です
食事	状態に合わせた食事が 出ます 	21時から絶食です (何も食事はできません) 飲水は手術室に行く2時間前まで可能です	1日中絶食です (何も食事はできません) 飲水は( )時( )分までは可能です	絶飲食です (何も食べたり飲んだりできません)
清潔	ベッド上安静のため体を拭きます	寝たままでお風呂に入りますが、難しい時は体拭きを ます	手術前に体拭きをします 手術着に着替えます	入浴できません
排泄	ベッド上安静のため便器かオムツを 使用します。ベッド上での排泄が 難しい場合は尿の管が入ります		>	ベッド上です 尿の管が入ります
リハビリ	リハビリの担当が決まります	ベット上でリハビリを行います	手術当日はリハビリはありません	>
説明	看護師から入院生活について説明があります 薬剤師から薬について説明があります 食事時に、栄養士の訪問があります 退院後の方向性について話を伺います	手術前日までに医師から 手術の説明があります 手術室の看護師が訪問します	手術中、ご家族は2階の待合室で待機して いただきます	手術後ご家族へ説明があります

川内市医師会立市民病院 整形外科 2016. 3月改正

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

上記について説明を受けました 平成 年 月 日 患者・家族署名: \_\_\_\_\_ 説明者署名: \_\_\_\_\_

	術後1日目 ( 月 日)	術後2日目 ( 月 日)	術後3日目 ( 月 日)	術後4~6日目 ( 月 日~ 月 日)
目標	合併症なく食事が開始できる 痛みのコントロールができる	痛みのコントロールができる 	痛みのコントロールができる 車椅子に乗ることができる	創部の感染の兆候がない 介助にてトイレ排泄できる
検査 処置	朝採血があります 熱や血圧を測ります 手術部位の観察をします	熱や血圧を測ります 医師より手術部の診察があり ます 膝の曲げ伸ばしの運動を機 械で開始します。1日1時間 行います(60~120度まで)	朝採血があります 熱や血圧を測ります 手術部位の観察をします	熱や血圧を測ります 手術部位の観察をします
点滴	1日中点滴があります		食事が摂取でき、熱がなければ、点滴 はありません	
内服薬	お薬が再開になります		抗生剤の内服が開始になる場合があり ます	
安静度	医師の許可があれば、 車椅子に座ることができます (足を床につかないようにし、移動する場 合があります)	医師の指示のもと、リハビリスタッフと相談 し、安静度を決定します		
食事	朝から患者様の状態に 合わせた形態の食事が 出ます			
清潔	体拭きをします	体拭きをします		
排泄			状態に応じて尿の管を抜きます。リハビリ状 況に応じた安静度でトイレに誘導を行いま す	
リハビリ	リハビリが開始となります。ベッドサイドで 立位訓練をします。	状態に応じて車椅子移乗しリ ハビリ室に行きます 医師の指示のもと歩行訓練し ます		
説明				

	術後7日目 ( 月 日)	術後8日目～13日目 ( 月 日～ 月 日)	術後14日目 ( 月 日)	術後1か月頃 ( 月 日)
目標	創部の異常がない	創部の異常がない シャワー浴ができる	状態が安定し、日常生活動作が徐々に 自分で行えるようになる	状態が安定し、退院へ向けて の調整ができる
検査 処置	朝採血があります 熱や血圧を測ります 医師より手術部の診察があります 傷口の状態が良ければ抜糸します レントゲンがあります	医師より手術部の診察があります 熱や血圧を測ります	朝採血があります 熱や血圧を測ります レントゲンがあります	熱や血圧を測ります レントゲンがあります
点滴				
内服薬				
安静度		医師の指示のもと、リハビリスタッフと相談し 決定した安静度をもとに、日常生活動作を 行います		→
食事				
清潔	医師の許可が出れば傷口を保護して シャワー浴ができます	医師の許可が出れば傷口を保護してシャ ワー浴ができます		→
排泄				→
リハビリ				
説明			今後の方向性を確認します 自宅退院が可能な方は試験外泊を取り入れ ます 必要時には相談員と話をさせていただきます	退院が決まりましたら退院前日に入院 費の予定金額を出せます。 退院日は全会計後に書類やお薬をお渡し します